

令和4年2月24日
道路局企画課未来の地域開発を支える Safe・Smart・Sustainable なインフラの取組みを
国連シンポジウムにおいて紹介

2月23日(水・祝)に国際連合地域開発センター(UNCRD)の設立50周年シンポジウムが開催され、SDGsを念頭に置いた今後の地域開発について話し合われました。

国土交通省からは、吉岡技監が「地域開発とインフラ」をテーマに、今後のインフラに求められる3つのポイント Safe(安全な)・Smart(賢く)・Sustainable(持続可能な)に対応する取組み等を紹介しました。

1. シンポジウム概要

国際連合地域開発センター(UNCRD)は、中部地域に唯一所在する国連の本部組織であり、1971年の設立以来、地域開発に関する多くの人材を育成するなど、中部圏のみならず日本の国際化に向け様々な貢献を行っています。

今般設立50年を迎え、これまでの活動の振り返りと、国連サミットで採択された国際合意である「持続可能な開発目標(SDGs)」を念頭に置いた今後の地域開発について、シンポジウムが以下の通り開催されました。

主催 国際連合地域開発センター(UNCRD)

日時 令和4年2月23日(水・祝)
14時～17時30分

場所 名古屋国際センター(オンライン併用)



2. 国土交通省からの話題提供

吉岡技監が、「地域開発とインフラ」をテーマに講演し、中部地方整備局の事例を中心に、インフラ分野のデジタル化等、今後のインフラに求められる3つのポイント「Safe(安全な)・Smart(賢く)・Sustainable(持続可能な)」等について紹介しました。

【問い合わせ先】

道路局企画課国際室 北瀬・小嶋 (内線 37542)

(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8906 (FAX) : 03-5253-1618